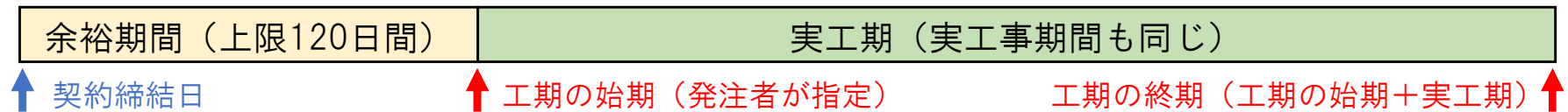
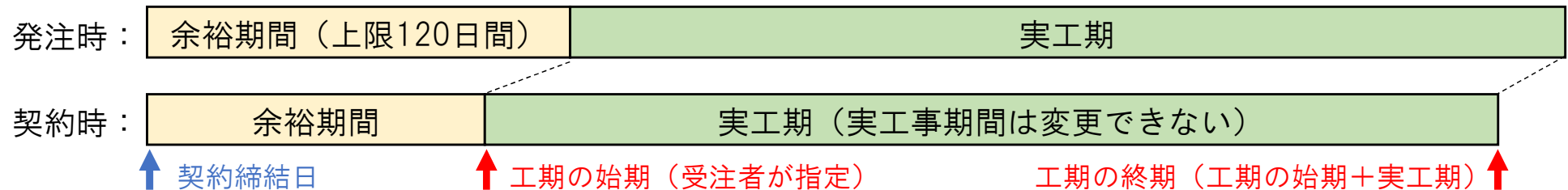


余裕期間制度 イメージ図

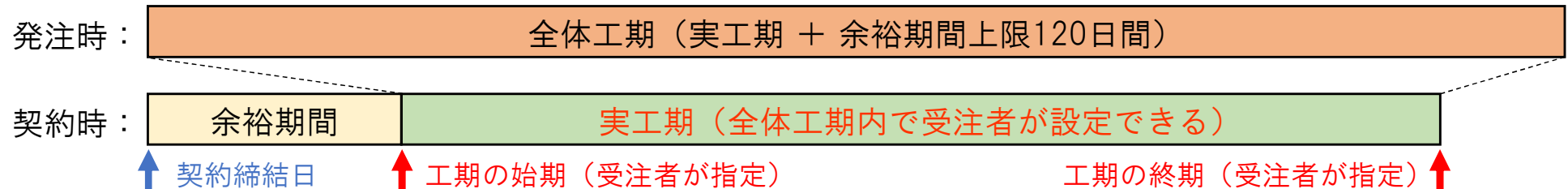
①「発注者指定方式」：余裕期間内で工期の始期を発注者があらかじめ指定する方式



②「任意着手方式」：受注者が工期の始期を余裕期間内で選択できる方式



③「フレックス方式」：受注者が工期の始期と終期を全体工期内で選択できる方式



余裕期間：契約締結（予定）日から工期の始期日の前日までの期間
技術者の設置不要、現場着手は不可（資機材の準備は可、現場搬入は不可）

実工期：発注時に算出した工事を施行するために必要な期間（準備期間と後片付け期間を含む）、技術者の設置必要

実工事期間：実際に工事を施行する期間（準備期間と後片付け期間を含む）、技術者の設置必要
通常工事と同様に工期延期は可能

フレックス方式の特徴

- ・ 工期の始期：競争参加資格確認資料提出時に添付する「工期通知書」により受注者が指定
- ・ 工期の終期：競争参加資格確認資料提出時に添付する「工期通知書」により受注者が指定
- ・ 実工事期間：全体工期内（実工期＋余裕期間上限120日間）で受注者が設定
- ・ 余裕期間：全体工期内（実工期＋余裕期間上限120日間）で受注者が設定（※上限設定の有無は要検討）